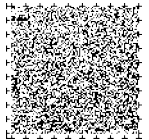


第3章 本市の障がいのある人の現状と今後の動向



1. 全体の推移

2017年（平成29年）4月1日現在の本市における障がい者手帳所持者数（身体、知的、精神各障がい者手帳所持者数の合計、延べ数）は17,088人と、2013年（平成25年）に比べて10.7%増加しました。2013年（平成25年）から2017年（平成29年）の推移をみると、すべての障がい種別で増加しており、療育手帳所持者数は23.5%増加、精神障がい者保健福祉手帳所持者数は30.2%増加しています。

また、2017年（平成29年）の自立支援医療（精神通院医療）受給者数は5,683人と、2013年（平成25年）に比べて18.6%増加しました。

指定難病医療受給者数は、指定難病への制度変更に伴い、受給対象となる難病の種類が増えたこと等から、2015年度（平成27年度）の2,663人から2016年度（平成28年度）には2,784人へと増加しました。

図表 3-1：総人口および障がい者手帳所持者数の推移

区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
総人口	417,070人	418,308人	420,619人	425,105人	427,501人	
身体障がい者手帳所持者数	10,574人	10,763人	10,910人	10,896人	10,918人	3.3%
療育手帳所持者数	2,344人	2,487人	2,579人	2,679人	2,895人	23.5%
精神障がい者保健福祉手帳所持者数	2,515人	2,678人	2,889人	3,071人	3,275人	30.2%
障がい者手帳所持者数（延べ数）	15,433人	15,928人	16,378人	16,646人	17,088人	10.7%

注1. 総人口は、国勢調査を基準とした推計値。2013～2015年の推計値は平成22年国勢調査、2016～2017年の推計値は平成27年国勢調査を基準としています。

注2. 各年4月1日現在の数値。

注3. 障がい者手帳所持者数（延べ数）は、身体障がい者手帳所持者数、療育手帳所持者数、精神障がい者保健福祉手帳所持者数の合計値。

注4. 4年間の伸び率（%）＝（2017年の数値－2013年の数値）／2013年の数値×100

注5. 身体障がい、知的障がい、精神障がいについては、障がい者手帳を所持していない人も一定数いると考えられます。また、難病や発達障がい、高次脳機能障がいについては、障がいのある人の数の把握が困難であることから、数値を掲載していません。これらの点を踏まえると、実際に障がいのある人の総数は図表3-1の数値よりも多いと考えられます。

なお、発達障がいのある人の割合として、文部科学省が2012年（平成24年）に実施した「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」では、全国（岩手県・宮城県・福島県除く）の公立小・中学校の通常学級に在籍する児童生徒のうち、知的発達に遅れはないものの学習面または行動面で著しい困難を示す児童生徒の割合は、6.5%（誤差±0.3%）と推定されています。

出所：障がい福祉課資料、藤沢市「藤沢市の人口と世帯数」

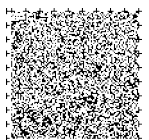
図表 3-2：自立支援医療（精神通院医療）受給者数の推移

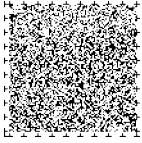
区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
自立支援医療受給者数	4,793人	4,925人	5,164人	5,435人	5,683人	18.6%

注1. 各年4月1日現在の数値。

注2. 4年間の伸び率（%）＝（2017年の数値－2013年の数値）／2013年の数値×100

出所：障がい福祉課資料





2. 身体障がい者手帳所持者数の推移

(1) 年齢階級別所持者数

2017年(平成29年)4月1日現在の身体障がい者手帳所持者数は10,918人と、2013年(平成25年)に比べて、3.3%増加しています。

年齢階級別の人数をみると、「70歳以上」の高齢者が4年間で8.2%と大きく増えています。

また、年齢階級別の構成比の推移をみると、「18～64歳」の割合が低下する一方で、「65歳以上」の割合が上昇しています。

図表 3-3 : 年齢階級別の身体障がい者手帳所持者数の推移

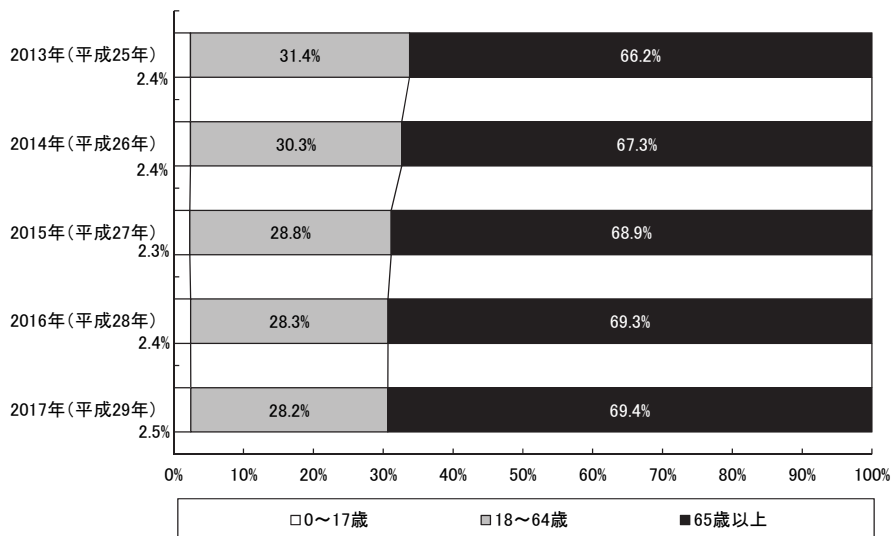
区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
総 数	10,574人	10,763人	10,910人	10,896人	10,918人	3.3%
0～5歳	56人	56人	50人	44人	52人	▲7.1%
6～11歳	95人	94人	85人	96人	96人	1.1%
12～14歳	64人	56人	51人	58人	58人	▲9.4%
15～17歳	39人	51人	66人	66人	62人	59.0%
18～29歳	253人	247人	243人	228人	250人	▲1.2%
30～39歳	404人	408人	399人	380人	378人	▲6.4%
40～49歳	732人	748人	740人	766人	763人	4.2%
50～64歳	1,926人	1,855人	1,764人	1,707人	1,687人	▲12.4%
65～69歳	1,181人	1,220人	1,289人	1,311人	1,270人	7.5%
70歳以上	5,824人	6,028人	6,223人	6,240人	6,302人	8.2%

注1. 各年4月1日現在の数値。

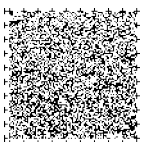
注2. 4年間の伸び率(%) = (2017年の数値 - 2013年の数値) / 2013年の数値 × 100

出所: 障がい福祉課資料

図表 3-4 : 年齢階級別(3区分)の身体障がい者手帳所持者構成比の推移



出所: 障がい福祉課資料



(2) 等級別の障がいのある人の数

身体障がい者手帳所持者について、手帳の等級別の状況をみると、2017年（平成29年）は「1級」が3,983人と最も多くなっています。以下、「4級」（2,429人）、「2級」（1,759人）、「3級」（1,706人）と続いています。

2013年（平成25年）から2017年（平成29年）にかけての手帳所持者数の推移を等級別にみると、「1級」の増加が最も大きくなっています。

等級別の構成比の推移をみると、「1級」の割合が上昇している一方で、「2級」の割合は低下しています。

図表 3-5：等級別の身体障がい者手帳所持者数の推移

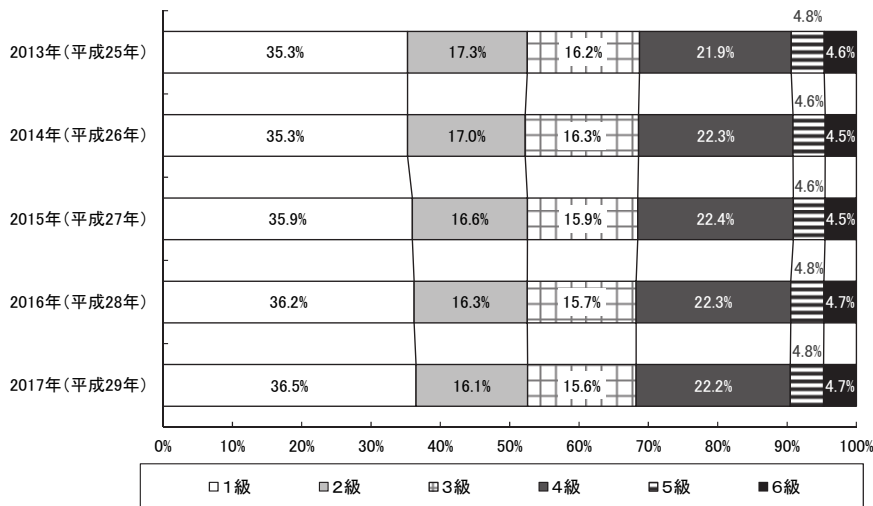
区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
総 数	10,574人	10,763人	10,910人	10,896人	10,918人	3.3%
1級	3,728人	3,797人	3,921人	3,944人	3,983人	6.8%
2級	1,825人	1,827人	1,813人	1,779人	1,759人	▲3.6%
3級	1,713人	1,757人	1,734人	1,712人	1,706人	▲0.4%
4級	2,315人	2,400人	2,447人	2,428人	2,429人	4.9%
5級	503人	497人	502人	522人	524人	4.2%
6級	490人	485人	493人	511人	517人	5.5%

注1. 各年4月1日現在の数値。

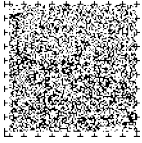
注2. 4年間の伸び率(%) = (2017年の数値 - 2013年の数値) / 2013年の数値 × 100

出所：障がい福祉課資料

図表 3-6：等級別の身体障がい者手帳所持者構成比の推移



出所：障がい福祉課資料



(3) 障がい種別所持者数

身体障がい者手帳所持者について、障がい種別の状況をみると、2017年（平成29年）は「肢体不自由」が5,732人と最も多く、次に、「内部障がい」が3,411人と続いています。

2013年（平成25年）から2017年（平成29年）の推移をみると、「聴覚」と「内部障がい」が増加しています。

とりわけ、「内部障がい」は4年間で、13.8%増加しています。なお、その内訳をみると、「ぼうこう・直腸」を除く、すべての内部障がいで増加していることが分かります。

図表 3-7：障がい種別身体障がい者手帳所持者数の推移

区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
総 数	10,574人	10,763人	10,910人	10,896人	10,918人	3.3%
視覚	787人	780人	789人	771人	777人	▲1.3%
聴覚	834人	827人	849人	874人	880人	5.5%
平衡機能	5人	5人	5人	4人	3人	▲40.0%
言語機能	134人	134人	132人	134人	115人	▲14.2%
肢体不自由	5,817人	5,928人	5,886人	5,766人	5,732人	▲1.5%
内部障がい	2,997人	3,089人	3,249人	3,347人	3,411人	13.8%

注1. 各年4月1日現在の数値。

注2. 4年間の伸び率(%) = (2017年の数値 - 2013年の数値) / 2013年の数値 × 100

出所：障がい福祉課資料

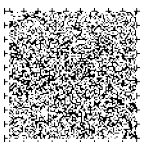
図表 3-8：内部障がいの障がい種別身体障がい者手帳所持者数の推移

区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
内部障がい計	2,997人	3,089人	3,249人	3,347人	3,411人	13.8%
心臓	1,590人	1,661人	1,746人	1,786人	1,847人	16.2%
腎臓	669人	689人	754人	798人	803人	20.0%
呼吸器	134人	129人	141人	147人	149人	11.2%
ぼうこう・直腸	522人	516人	510人	510人	499人	▲4.4%
小腸	9人	10人	11人	12人	11人	22.2%
免疫	57人	63人	66人	74人	80人	40.4%
肝臓	16人	21人	21人	20人	22人	37.5%

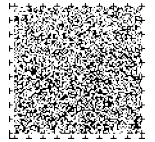
注1. 各年4月1日現在の数値。

注2. 4年間の伸び率(%) = (2017年の数値 - 2013年の数値) / 2013年の数値 × 100

出所：障がい福祉課資料



3. 療育手帳所持者数の推移



(1) 年齢階級別所持者数

2017年（平成29年）4月1日現在の療育手帳所持者数は2,895人と、2013年（平成25年）に比べて、23.5%増加しています。

年齢階級別の人数をみると、「18～64歳」については、2017年（平成29年）で1,868人と2013年（平成25年）に比べて24.0%増加しています。また、「65歳以上」は、2017年が100人と2013年（平成25年）に比べて51.5%増加しています。

年齢階級別の構成比の推移をみると、2015年（平成27年）以降、「18～64歳」の割合が上昇する一方で、「0～17歳」の割合が低下しています。

図表 3-9：年齢階級別の療育手帳所持者数の推移

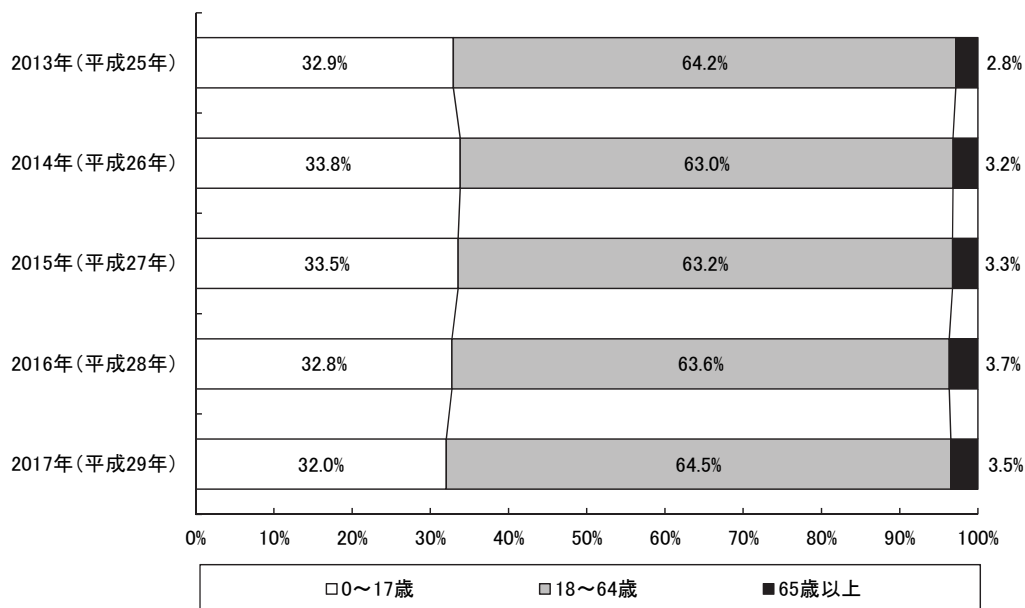
区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
総 数	2,344人	2,487人	2,579人	2,679人	2,895人	23.5%
0～17歳	772人	841人	865人	878人	927人	20.1%
18～64歳	1,506人	1,567人	1,630人	1,703人	1,868人	24.0%
65歳以上	66人	79人	84人	98人	100人	51.5%

注1. 各年4月1日現在の数値。

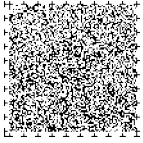
注2. 4年間の伸び率(%) = (2017年の数値 - 2013年の数値) / 2013年の数値 × 100

出所：障がい福祉課資料

図表 3-10：年齢階級別の療育手帳所持者構成比の推移



出所：障がい福祉課資料



(2) 等級別の障がいのある人の数

療育手帳所持者の状況を手帳の等級別にみると、いずれの等級においても増加しています。

等級別の人数をみると、「軽度」については、2017年（平成29年）で926人と2013年（平成25年）に比べて25.6%増加しています。また、「最重度」、「重度」、「中度」についても、2013年（平成25年）に比べると2017年（平成29年）にはそれぞれ2割以上増加しています。

なお、等級別の構成比については、大きな変化はみられません。

図表 3-11：等級別の療育手帳所持者数の推移

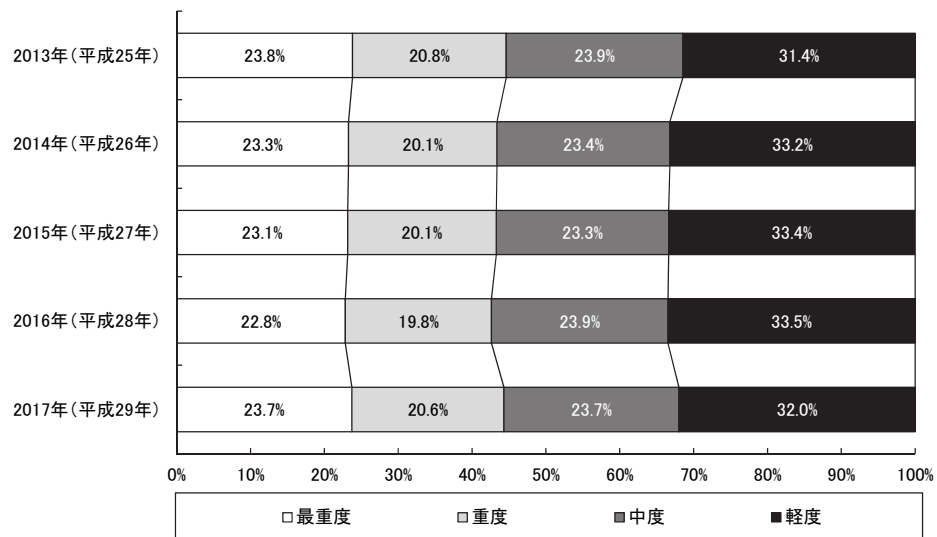
区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
総 数	2,344人	2,487人	2,579人	2,679人	2,895人	23.5%
最重度	558人	579人	597人	612人	687人	23.1%
重度	488人	500人	519人	530人	596人	22.1%
中度	561人	582人	602人	640人	686人	22.3%
軽度	737人	826人	861人	897人	926人	25.6%

注1. 各年4月1日現在の数値。

注2. 4年間の伸び率(%) = (2017年の数値 - 2013年の数値) / 2013年の数値 × 100

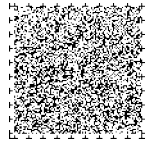
出所：障がい福祉課資料

図表 3-12：等級別の療育手帳所持者構成比の推移



出所：障がい福祉課資料

4. 精神障がい者保健福祉手帳所持者数の推移



(1) 年齢階級別所持者数

2017年（平成29年）4月1日現在の精神障がい者保健福祉手帳所持者数は3,275人と、2013年（平成25年）に比べて30.2%増加しています。

年齢階級別の人数をみると、「60～64歳」を除くすべての年齢で増加しており、とりわけ、全体の中でも多くの割合を占める「40～49歳」については、2017年（平成29年）で978人と2013年（平成25年）に比べて37.7%増加しているほか、「50～59歳」や「65歳以上」も、2013年（平成25年）に比べて、2017年（平成29年）はそれぞれ4割以上増加しています。

年齢階級別の構成比の推移をみると、2013年（平成25年）以降、「40～49歳」や「50～59歳」、「65歳以上」の割合が上昇しています。

図表 3-13：年齢階級別の精神障がい者保健福祉手帳所持者数の推移

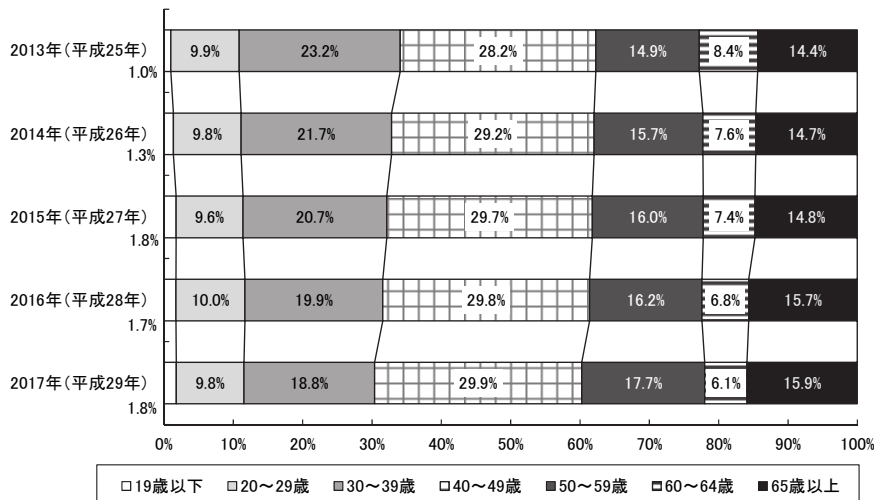
区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
総 数	2,515人	2,678人	2,889人	3,071人	3,275人	30.2%
0～9歳	2人	6人	12人	8人	6人	200.0%
10～19歳	23人	30人	39人	45人	52人	126.1%
20～29歳	248人	262人	278人	306人	320人	29.0%
30～39歳	584人	581人	599人	610人	617人	5.7%
40～49歳	710人	782人	857人	916人	978人	37.7%
50～59歳	375人	420人	462人	497人	581人	54.9%
60～64歳	211人	204人	215人	208人	200人	▲5.2%
65歳以上	362人	393人	427人	481人	521人	43.9%

注1. 各年4月1日現在の数値。

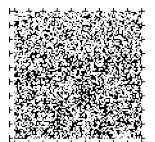
注2. 4年間の伸び率(%) = (2017年の数値 - 2013年の数値) / 2013年の数値 × 100

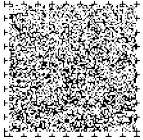
出所：障がい福祉課資料

図表 3-14：年齢階級別の精神障がい者保健福祉手帳所持者構成比の推移



出所：障がい福祉課資料





(2) 等級別の障がいのある人の数

精神障がい者保健福祉手帳所持者の状況を手帳の等級別にみると、「2級」と「3級」において、増加が顕著となっています。直近の2017年（平成29年）についてみると、「2級」が2,081人となっており、2013年（平成25年）に比べて30.3%増加しています。また、「3級」は794人と、2013年（平成25年）に比べて51.8%増加しています。

等級別の構成比についてみると、「1級」の割合が低下する一方で、「3級」の割合が上昇しています。

図表 3-15：等級別の精神障がい者保健福祉手帳所持者数の推移

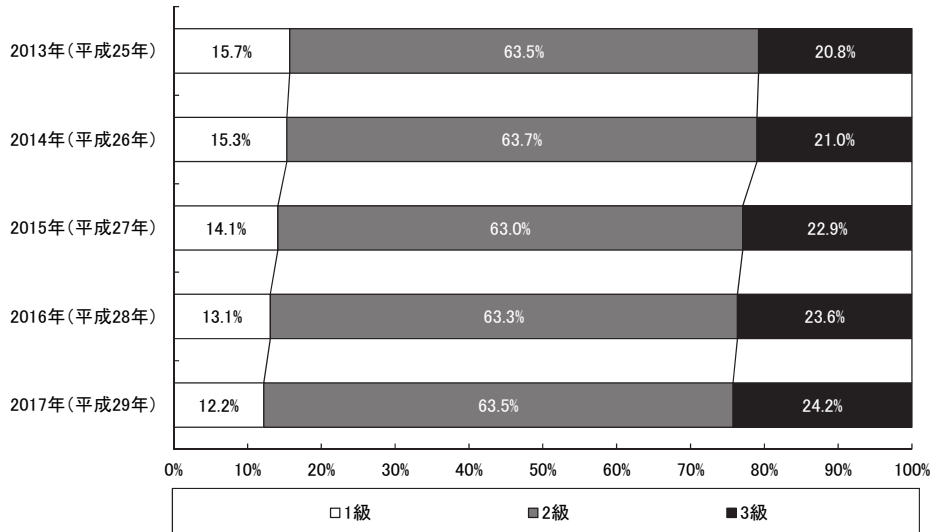
区 分	2013年 (平成25年)	2014年 (平成26年)	2015年 (平成27年)	2016年 (平成28年)	2017年 (平成29年)	4年間の 伸び率
総 数	2,515人	2,678人	2,889人	3,071人	3,275人	30.2%
1 級	395人	411人	408人	402人	400人	1.3%
2 級	1,597人	1,705人	1,819人	1,943人	2,081人	30.3%
3 級	523人	562人	662人	726人	794人	51.8%

注1. 各年4月1日現在の数値。

注2. 4年間の伸び率(%) = (2017年の数値 - 2013年の数値) / 2013年の数値 × 100

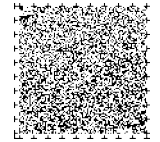
出所：障がい福祉課資料

図表 3-16：等級別の精神障がい者保健福祉手帳所持者構成比の推移



出所：障がい福祉課資料

5. 障がい者数の将来推計



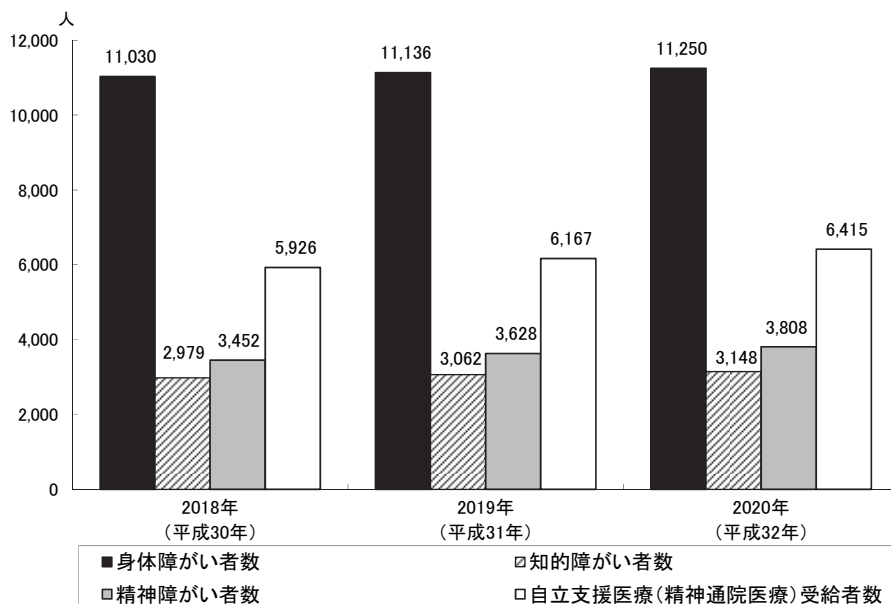
(1) 障がい者数の推計方法

1993年（平成5年）（精神障がいは1996年（平成8年））から2017年（平成29年）までの障がい者手帳所持者数と障がい種別ごとの障がい者比率（総人口に占める障がい者の比率）の実績や近年の動向を踏まえた上で、2018年（平成30年）～2020年（平成32年）の障がい者比率を推計しました。それに推計人口を乗じて、各年の障がい種別ごとの障がい者数を見込みました。なお、手帳をお持ちでない方の人数については、統計データ等から正確な実態を把握することが困難なことから本推計には含めていません。

(2) 推計結果

推計の結果、各障がい別の障がい者数は、2020年（平成32年）には身体障がい者数が11,250人、知的障がい者数が3,148人、精神障がい者数が3,808人と、2017年（平成29年）に比べていずれの障がい者数も増加することが見込まれます。また、自立支援医療（精神通院医療）受給者数については、2017年（平成29年）の5,683人から、2020年（平成32年）には6,415人に増える見込みです。一方、手帳をお持ちでない方についても、今後、手帳の取得が進むことが想定されることから、将来の障がい者数は図表3-17の推計値よりも多くなる可能性があります。

図表3-17：2018年（平成30年）～2020年（平成32年）の各年の障がい者数
および自立支援医療（精神通院医療）受給者数の推移（推計値）



注. 障がい種別の障がい者数(推計値)については、過去の動き等を踏まえた上で、各障がい種別の障がい者比率（総人口に占める障がい者の比率）を推計し、それに、既に予測されている総人口を乗ずることにより推計しました。

出所：障がい福祉課資料、藤沢市「平成29年度藤沢市将来人口推計（中間報告）」

